

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)芦屋市南宮町計画	階数	地上5階
建設地	兵庫県芦屋市南宮町	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住宅専用地域	平均居住人員	168 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2020年4月15日
敷地面積	1,913 m ²	作成者	株式会社IAO竹田設計 山口隆幸
建築面積	1,001 m ²	確認日	2020年4月15日
延床面積	3,978 m ²	確認者	株式会社IAO竹田設計 山口隆幸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 77%
③上記+②以外の 77%
④上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	街並み、風土、自然と調和し、芦屋の邸宅としての格式ある外観になるようなデザイン	その他 特になし
Q1 室内環境	化学汚染物質を使用せず、自然換気がしやすくなるように設計	Q2 サービス性能 格式ある邸宅としてのデザインに加え、通信設備や維持管理の機能性を重視した設計
Q3 室外環境(敷地内)	少ない植樹範囲に対し、低中高木を組み合わせ周辺の自然環境に溶け込むよう設計	LR1 エネルギー 住宅設備の省エネルギー化および外皮熱負荷抑制に努め、環境に配慮した設計
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を使用することにより、環境に配慮している	LR3 敷地外環境 CO ₂ 排出率を抑えることにより、環境に配慮している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される